

大学の魅力PRレポート

1. 研究室概要

大学名	実践女子大学		研究者	塚原 肇
			職位	教授
研究領域	プロダクトデザイン、ユニバーサルデザイン		窓口担当	研究推進室 研究推進課
研究キーワード	プロダクトデザイン、ユニバーサルデザイン、ブランディング、インテリア			
住所	〒191-8510 東京都日野市大坂上 4-1-1			
電話	042-585-8821	E-mail	kenkyu@jissen.ac.jp	
FAX	042-585-8818	URL	https://www.jissen.ac.jp/about/teacher/tsukahara_tadashi.html	

2. 技術PR事項

『シックス・シグマプロセスを応用したデザイン開発』

1. 概要

シックス・シグマとは、日本のTQMをベースにアメリカで開発された品質管理手法、または経営手法の一つと言われています。この手法のポイントは、統計分析手法を活用して「ばらつき」を抑え、「100万回の作業を実施しても不良品の発生率を3.4回に抑える」ことをスローガンにしています。当研究室では、この手法に独自のデザインの要素を加え、「失敗しないデザイン開発」を試行しています。

【デザインプロセス】(右の表)

- ① Define: 最終目標の明確化
- ② Measure: 現状の問題収集
- ③ Analyze: コンセプトの作成
- ④ Design: 実施デザイン
- ⑤ Verify: デザイン仕様書

① Define	スケジュール	開発条件の収集	開発仕様書作成
② Measure	ユーザ調査	他社製品調査	最新技術調査
③ Analyze	問題の解析	コンセプト作成	コンセプト評価
④ Design	ラフデザイン	詳細デザイン	試作の評価
⑤ Verify	修正デザイン	デザイン図面	デザイン仕様書

●「失敗しないデザイン開発」

デザインの品質を高めることです。すなわち自社の持っている独自の技術とユーザの要望を確実に把握し、最良のデザインに仕上げることを目標にしています。そこで、このプロセスでは1~3までの調査・解析が最も重要な位置づけとなります。また、各フェーズごとに関係者による評価会議を実施し、合意のもとにしか次のフェーズに進めないことも大きな特徴です。

2. 希望する連携内容(共同研究、試作品作りなど)と相談に対応できる技術分野

- ◆ プロダクトデザイン、特に雑貨や若い女性の感性に訴える製品やコンセプト作りが強みです。
- ◆ グラフックスデザイン、関連領域の調査を元にしたブランディングやWebデザインに経験があります。
- ◆ ユニバーサルデザイン・エコデザイン、観察法・インタビュー・アンケート調査を元にデザインを提案します。



作品の例(左から)
 ・日野市役所共通名刺のデザイン
 ・お菓子のパッケージデザイン
 ・すもう扇子のデザイン

3. 特記事項

● 連携事業実績:

1. 日野市立図書館の活性化プロジェクト(日野市立図書館)
2. トイレ清掃システム提案プロジェクト(中日本高速道路)
3. 日野駅周辺活性化プロジェクト(日野市役所・日野市商店会有志の皆さま)
4. 日本相撲協会公式グッズ開発プロジェクト(日本相撲協会)